

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用目的及び利用方法	研究の名称 Colitis-Associated Cancer における腸管筋線維芽細胞を標的とした新規診断マーカー、治療法の探索
	研究の対象 当院において dysplasia、CAC、腺腫、散発性大腸癌のいずれかと診断され、(西暦)1990年～2027年7月までの期間に通常診療により外科的切除を受けられた方、または受けられる方、各10名ずつ。 手術切除検体 当院において dysplasia、CAC、腺腫、散発性大腸癌のいずれかと診断され、(西暦)2022年8月～2027年7月までの期間に通常診療により外科的切除を受けられる方、各5名ずつ。
	研究の目的 炎症性腸疾患 <small>えんしょうせいちょうしつかん</small> に発生する大腸癌 <small>ちようえんかんれんせいはいづがん</small> を腸炎関連性発癌(Colitis-Associated-Cancer:CAC)といい、通常の大腸癌とは癌の発生の仕方が異なります。発見のために下部消化管内視鏡検査を行いますが、CAC 及びその前の状態である dysplasia 病変の診断は難しく、その他有用な検査法で確実なものは有りません。手術切除後の検体を使って腸管筋繊維芽細胞 <small>ちようかんきんせんい がさいぼう</small> の遺伝子解析を行い、CAC の診断マーカーの探索と新規治療法確立を目指します。
	研究の期間 研究機関の長による実施許可日から（西暦）2027年7月まで
	他の機関に提供する場合には、その方法 遺伝子解析で行う次世代シーケンス解析を外部業者に依頼します。また、データの提供は、記憶媒体（DVD）に保存し、

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	<p>郵送で行います。記憶媒体に保存する場合には、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。特定の個人を照合するための情報は、研究責任者・研究分担者が保管・管理します。</p>
<p>利用し、又は提供する試料・情報の項目</p>	<p>研究に使用する試料・情報 情報: 年齢、体重等 検査: 血液検査、CT検査、下部消化管内視鏡検査等 外科的手術切除された検体等</p>
<p>利用する者の範囲</p>	<p>機関名および責任者名 浜松医科大学 外科学第二講座・講師・倉地清隆</p>
<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>浜松医科大学 外科学第二講座・講師・倉地清隆</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下 問い合わせ先 をご確認ください。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>情報の開示</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	<p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学</p> <p>部署名： 外科学第二講座</p> <p>担当者： 倉地清隆</p> <p>053-435-2279</p> <p>TEL： (夜間・休日 053-435-2111)</p>